

新聞紙法案特別委員會會議事速記録第一號

委員氏名

委員長

男爵波多野敬直君

副委員長

男爵菊池

大麓君

委員

男爵園田 安賢君

男爵關

義臣君

江木

千之君

男爵小早川四郎君

千頭

清臣君

安樂

兼道君

絲原武太郎君

明治四十二年三月二十三日(火曜日)午後二時二十八分開會

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレハ會議ヲ始メマス、是ハ衆議院案デゴザイマス
ガ、政府ノ方デハ初メカラ御存ジデゴザイマセウカラ一應大體ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(有松英義君) 今日御審査ヲ願ヒマス 新聞紙法案ハ衆議院提出案デ
ゴザイマシテ、當初提出ニナリマシタル所ノ議案ハ委員會ニ於テ大ニ修正ヲ加ヘマシテ、
其修正案ハ委員會全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、尙ホ此本議ニ上ボリマシタ節ニ
ハ二三ノ修正ガゴザイマシテ、其修正ニ付キマシテモ滿場一致デ通過イタシマシタノデゴ
ザイマス、政府ハ衆議院ニ於キマシテハ尙ホ此案ニ對シマシテ多少ノ修正ヲ加ヘタイ希
望ヲ申述ベテアリマスノデゴザイマス、併ナガラ既ニ唯今申述ベマスル通り全會一致ヲ以
テ之ヲ可決イタシマシテ當院ニ送付ニナリマシタ、今日ノ場合ニ於テハ全然此案ニ同意
ヲ表スルコトニ致シマシタノデゴザイマス、今度改正案ト致シマシテ此案ガ成立チマシタ經
過ハ、衆議院ノ委員會デ既ニ新聞ノ經營ニ從事シ、又ハ自ラ新聞紙ニ筆ヲ執ッテ居ル
專門家ガ特別委員ト致シテ調査イタシマシタノデゴザイマス、故ニ新聞社トシテ從來不
便ヲ感ジテ居リマシタコトモ、又政府ノ取締上ニ於テ不備デアツタ點モ能ク承知シテ居リ
マスル、即チ經驗ヲ重ネタ人ノ手ニ此案ハ成リマシタノデゴザイマス、故ニ現行法ノ不備ナ
ル點トシテ改正ヲ加ヘマシタルガ爲ニ、新聞社ニ於テ大ニ便利ヲ感ズル事項モゴザイマス、
又新聞社ニ關係ノアル人自ラ認メテ今少シ取締ヲ嚴シナケレバナラヌト云フ必要ヲ感
ゼラレマシタ點ニ付キマシテハ、取締上カラモ都合好ク改正ニ相成ッテ居リマス、政府ニ於テ
ハ取締上尙ホ此以外ニ多少ノ希望ヲ有シマシタナレドモ、此ノ如ク現行法ニ比較イタシマ
スルト大ニ改良サレマシタ跡ガアリマスルノデ、此法案ノ御協賛ヲ得マシテ速ニ成立セム
コトヲ希望イタシマスルノデゴザイマス、ソレカラ然ラバ如何ナル點ガ新聞社ニ取リマシテ
改正ニ依ッテ得ル所ノ利益アルカト申シマスレバ、其一二ノ例ヲ試ミニ舉ゲマシテ御參
考ニ供シタイト考ヘマス、從來新聞紙ノ居出ハ總テ發行人ガ責任ヲ有ッテ居リマシテ宛
モ發行人ノ所有セル新聞紙ノ如ク相成ッテ居リマスノデゴザイマス、而シテ發行人ヲ變更
イタシマスル場合ニ於キマシテ事實ニ於テハ發行人以外ニ持主ガゴザイマスル場合ニ、持
主ハ發行人ヲ變ヘタイト考ヘマシテモ、現在ノ發行人ノ同意ヲ得ルコトガ出來マセヌ爲ニ
持主ノ當惑シタ例ガ度モゴザイマス、例ヘバ保證金ノ如キ前ノ發行人ノ名義メ納メテ
アルニ依ッテ發行人ノ署名捺印ヲ得ザル限リ、容易ニ發行人ヲ變ヘルコトハ出來ヌト云

フヤウナコトモゴザイマス、又社主謂ハユル持主ナル者ガ發行人ヲ變ヘル必要ヲ認メマセ
ヌ場合ニ於テ、他ノ人ガ自ラ發行人ト稱シマシテ發行居ラ保證金ヲ添ヘテ出シマスルト、
內務省ニ於テハ發行人ノ變更サレタモノト見ルノ外ハ無イヤウナ現行法ノ規定デアリマス
ルガ爲ニ、是等ノ場合ニ於テモ往々社内ノ紛擾ヲ醸シタコトモゴザイマス、依ッテ此法案
ニ於テハ豫メ持主ヲ居ケ置キマシテ發行人變更ノ場合ニ於テハ持主ノ連署ガアリマシタ
ナラバ舊來ノ發行人ノ同意アルト無イト問ハズ變更シマシタコト、致シマス、又持主ノ
連署ナキ限リハ何人ガ自ラ發行人ト稱シテ居出デマシテモ政府ハ受理セヌコトニ相成リ
マス、而シテ保證金ノ權利義務ノ規定ガ是マデ缺ケテ居リマス、發行人ヲ變ヘマスル
場合ニ前ノ發行人ガ保證金ヲ受取リマシテ後ノ發行人ニ更ニ納付スル手續ガアリマシ
タ、今回ハ發行人變更ノ場合ニハ當然後任ノ發行人ニ保證金ニ對スル權利義務ガ移
ルコトニ法文ヲ變ヘマシテ、唯今ノ持主ノ連署ニナス規定ト相付ッテ新聞社ハ大ニ將來
法律ニ依ッテ保護ヲ受ケルコトガ出來マスル結果ニナリマス、又些末ノコトデハアリマス
ガ、發行居其他ノ居出ヲ十四日以前ニ居出デナケレバナラヌコトニ相成ッテ居リマス
今回ハ十日以内ニ居出デレバ宜イコトニ致シタノデ、是等ハ新聞社ニ取ッテ利益ナ規定
デゴザイマス、又極小サイコトニナリマスルト、持主、編輯人、印刷人ノ變更ノ如キ七
日以内ニ居出デルコトニナッテ居マシテ變更前ニ居ヲナシテモ受理シマセヌ、今回ハ變更
前デモ宜イコトニ致シマシタ、變更ノ後矢張り七日以内ト云フ制限ヲ設ケテゴザイマス、
又故ナク休刊ヲ致ス場合ニ五十日間休ミマスルト其新聞ハ廢止シタモノト看做シテ居
リマス、此案ニ於テハ百日間休ミマシテモ差支ナイコトニナリマシタ、而シテ雜誌ノ如キハ
マデ五十日ト云フ規定ガ有ルニ拘ラズ五十日以上ニ互ッテ、發行期日ヲ定メテ發行ス
ル者ニ對シテハ、イツマデ休ミマシテモ廢止セラレタモノト見ルコトハ出來マセナラヌニ依リマ
シテ是等ニ對シテモ新ナナル規定ヲ加ヘマシタ、又保證金ニ付キマシテ一例トシテ申上
ゲレバ是マデ保證金ハ新聞紙ヲ廢止若クハ禁止サレマシタ場合ニハ政府カラ之ニ還付ス
ルト云フデケノ規定デアリマシタ爲ニ、既往ニ於テ民事訴訟ノ強制執行ノ時ニ取立命
令若クハ返付命令ヲ政府ニ對シテ、即チ第二債務者トシテ裁判所ニ返付ヲ申請シマシ
例ガゴザイマスカラ、今回ノ法案、債權ノ讓渡ハ相成ラヌコトニ致シマシタ、右等ノ爲ニ
保證金ヲ他ノ債權者ニ取上ゲラレト云フコトヲ防ギマシタ、但シ國稅徵收法及之ヲ準
用スル法令ヲ適用シ、又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スル如キハ例
外デ、尙ホ罰金、刑事訴訟費用ノ完納ヲ終リマセヌ爲ニ保證金ヲ之ニ充テマス規定ハ
現行ノ通りデゴザイマス、唯現行法ハ七日以内ニ完納イタシマセヌト直チニ保證金ニ手
ヲ附ケラレマシタノ今同ハ新聞社ノ利益ノ爲ニ二十日以内ト云フコトニ延長イタシマシ
タ、其他新聞紙ニ對シテ正誤辯駁ガゴザイマシタ爲ニ、是マデハ原文ト同號ノ活字ヲ用
井同一欄ノ首部ニ掲載シナケレバナラヌ規定デアリマスノデ、同號ノ活字ヲ用ウルノミ
規定ニナリマシタシ、又辯駁書ハ原文ノ倍以上ニ互リマシタ時ニ初メテ料金ヲ要求シマ
シタノヲ、今回ハ原文ヲ超過スレバソレデ以テ料金ヲ要求スルコトガ出來ルト云フコトニナ

リマシタ、殊ニ豫審ノ關係ニ付キマシテハ、今回此法案が衆議院ニ出マシタ所ノ動機ニナッテ居リマス、豫審ニ關スル事項ハ總テ之ヲ新聞紙ニ掲載スルコトが出来ザル現行法ノ規定ヲ改メマシテ第十九條ニ於テ御覽ノ通り規定ニ改正シナリマシタノデゴザイマス、是等ハマダ其他ニモゴザイマスが新聞紙ニ取リテ利益ナル規定アリ、言論ヲ重シナル趣旨カラ致シマシテ政府ニ於テモ是ダケ改正ノ同意イタスノハ當然デアラウト思ヒマス、之ニ反シマシテ取締上便宜ヲ得マスルノハ、例ヘバ保證金ノ額ヲ殖ヤシマスルカ、或ハ是マデ法文ガ不備ニシテ取締上不便ヲ感ジテ居リマシタ廉、ヲ修正イタシマスルカ、若クハ罰則ノ不備ヲ多少修補イタス廉モゴザイマスルカ、或ハ又是マデ刑事被告人又ハ犯罪人ヲ救護シ又ハ賞恤スル爲ニスル文書ヲ掲グルコトヲ得ザル規定ヲ改メマシテ、治安警察法ノ例ニ倣ヒマシテ、「犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スル事項」ヲ掲載スルコトハ出來ヌト云フコトニ規定ヲ補ヒマシタリ、又外國カラ輸入シタリ、臺灣カラ輸入シタリスル新聞紙ガ現行法ニアリマス通リナ行政處分ヲ受ケマシテ發賣頒布ヲ禁止サレマスコトガ、一箇年ニ二回以上ニ互リマス、將來ニ向シテ其輸入ヲ禁止スルガ如キ、或ハ新聞紙ノ定義ヲ明カニ致シマシテ取扱上疑義ニ互ラサルヤウニシマシタ如キ、或ハ發行人編輯人ノ資格ヲ定メマスニ於テ一二ノ規定ヲ加ヘマシタ如キ、是等ハ政府ニ於テ取締上便利ヲ感ズル點デゴザイマス、以上ハ一例ト致シマシテ、衆議院ニ此案ヲ提出イタシマシタ理由ニ遡リマシテ公平ナル案デアルト申ス爲ニ御參考マデニ申述ベマシタノデゴザイマス、他ハ御質問ニ應ジマシテ御答イタスコトニ致シマス

○男爵關義臣君 政府モ多少御希望ハアルケレドモト云フヤウナ御言葉ノヤウニ聽込ミマシタガ、多少ノ御希望ト云フノハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(有松英義君) 一ツノ例デ申上ゲマスレバ、保證金ヲモウ少シ上ゲタイト考ヘマシタノデゴザイマス、併ナガラ現今ノヨリハ倍額ニナッテ居リマスル規定モアリマスルシ、餘ホドノ増額ニナッテ居リマスカラ今回ハ此邊テ満足イタス外ハナイト考ヘテ居リマス

○江木千之君 千ヨット政府委員ニ承ッテ置キタイノデスガ、衆議院ニ提出ニナッテ時ニハ二十二條ニ軍事又ハ外交ニ障礙ヲ及ボスモノト云フヤウナ一項ガアツタ、ソレガ此方ニ回ッテ來タ案ニハ除カレテ居ルヤウデアリマス、重要ナ事項ノヤウデアリマスガ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(有松英義君) 衆議院ノ特別委員會ニ於テ起草イタシマシタ案ニハ二十三條ニ於テ「軍事又ハ外交ニ障礙ヲ及ボスモノ」ハ云々トアリマシタノデゴザイマス、何等ノ必要デ掲ゲマシタカハ其邊ハ政府ニ於テハ篤ト研究イタサムトシテ居リマス際ニ衆議院ノ本會ニ於テ理由ヲ述ベズシテソレダケノ規定ヲ削リマシタノデゴザイマス、併ナガラ軍事外交ニ妨ケヲ致シマスル事柄ニシテ、其程度ガ安寧秩序ヲ紊スニ至リマス場合ハ必シモ特ニ此條ニ別段ノ規定ヲナス、必要ハナイコトデアラウト信ジテ居リマス、將來之ニ依ッテ取扱ヲ致シマス見込デゴザイマス

○男爵園田安賢君 千ヨット政府委員ニ御尋ネ致シマスルガ、十九條デゴザイマス「豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止メタル搜查又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ヲ掲載スルコトヲ得ス」トアリマシテ、是ガ三十一條デ之ヲ犯シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ストアリマスガ、此點ニ付イテ差止メタルキハ既ニ新聞紙ハ發行シテ居ルト云フヤウナコトガ往々アルデアラウト思フ、ソレヲ五百圓以下ノ罰金ニ處セラレルト云フコトニナルト罪ヲ犯スノ意ナクシテ、往々罰金ニ當嵌メラレルト云フコトガゴザイマスルガ、此點ニ付イテハ、政府委員デハ、別ニ御氣支ヘハ無イノデゴザイマスルカ

○政府委員(有松英義君) 唯今御尋ネノ點ハ此第十九條ノ文面ヨリ解釋ヲ致シマスレバ、檢事ガ差止メマシタ後ニ掲載イタシタモノデゴザイマス、其制裁ヲ受ケマセヌコトニナラウト思ヒマス、掲載シタ後ニ檢事ガ差止メマシテモ、其差止メマデニ間ニ合ハナカッタ其場合ニハ、檢事ノ命令ニ違反スルト云フコトニ相成リマセヌカラ、唯今ノ制裁ニハ這入リマセヌ事デゴザイマス

○男爵園田安賢君 如何ニモ道理上デ論ズレバ、ソレニ相違ゴザイマセヌガ、併ナガラサウ云フ御解釋デゴザイマスル、實際ノ取締上如何デゴザイマスルカ、檢事ノ差止メタル後掲載シマシテモ、既ニ檢事ノ命令ノアツタ場合ニハ、新聞紙ハ發行シテ居ッタト云フ口實ヲ以テ掲載スルト云フコトハゴザイマセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 其御懸念ハ至極御尤デゴザイマスルガ、此點ニ付キマシテハ、之ヲ餘ホド迅速ニ運ビマセヌト云フ、差止メガ掲載後ニ參ルト云フヤウナコトガ生ジマスル、搜查又ハ豫審ニ係リマスル事件ニ付イテハ、是ハ掲載シテハナラナイ、其場合ハ餘ホド機敏ニ其取扱ヲ致ス必要ガアラウト考ヘマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、種々考慮ヲ要スルコトモゴザイマスル、其處分ノ後レマスル爲ニ害ヲ生ジマスルコトノ無イヤウニ、精々努メマスル考ヘデゴザイマス

○千頭清臣君 千ヨット御尋ネシマスガ、此第九條ニ編輯人ノ責任ニ關スル云々其一號ノ「編輯人以外ニ於テ實際ノ編輯ヲ擔當シタル者」トゴザイマスルガ、是ハ現行法ト同ジコトデアリマセウカ、千ヨット伺ッテ置キマス

○政府委員(有松英義君) 現行法ト同ジアル意見デゴザイマス

○男爵菊池大麓君 第十九條以下ノコトヲモウ少シ確メデ置キタウゴザイマスガ、「檢事ノ差止メタル搜查又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項」トアリマスガ、檢事ハ斯ウ云フコトハ書イテナラヌ、ア、云フコトハ書イテナラヌト云コトヲ新聞紙ノ方ニ知ラセルヤウナコトニナリマスルカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 其通りデアリマス、詰リ被告事件ヲ指示シマシテ、其事件ヲ書カセナイト云フコトデゴザイマス、例ヘバドコソコニ人殺シガ起ツタ、直チニ搜查ニ著手スル、此人殺シノ事件ニ付イテハ新聞紙ニ掲載シテハナラヌト、斯ウ云フ風ニ檢事ノ方カラ申シマス譯デゴザイマス

○男爵菊池大麓君 此則ノ所ハ現行法ノ所ト較ベテドウ云フ關係ニナリマスルカ、尤モ箇條ガ違ヒマスルガ、一體現行トハドウ云フ風ナ釣合ニナッテ居リマスルカ

○政府委員(有松英義君) 衆議院ノ特別委員會ガ罰則ヲ改正イタシマシタ精神ハ言論ノ自由ヲ重シマスル主義ニ依リマシテ、成ルベク輕キニ處スル規定ヲ設ケタイト云フノデゴザイマス、ソレ故ニ罰金ニ就イテ申シマスル、從來ノ罰金ハ、金額ノ低キモノニ至リマスルト、今回ハ刑法改正ノ結果、科料ニナリマシタ、ソレデ罰金例ヘバ百圓以下ノ罰金ニ處スト申ス場合ニハ、情狀ノ輕キモノモアリ得ルト假定イタシマシテ、百圓以下ノ罰金

又ハ科料ニ處スト云フコトニ規定ヲ設ケマシタ、是等ハ即チ言論ノ自由ヲ尊重スルコト云フ趣旨ニ出デタル趣ニ承ハツテ居リマス、又條ニ依リマスルコト、例ハ三十條ノ如ク第四條乃至第五條ノ居出ヲ爲サズ若クハ居出ヲ爲スノ實ヲ以テセズト云フ如キ場合ニ於テ、現行法ハ罰ノ區別ヲ立テ、居リマシタ、單純ニ居出ヲ爲サナイモノト、又居出ヲ爲スノ實ヲ以テシナイ、惡意ノアル場合トハ區別ヲ致シマシテ、實ヲ以テセザル者ニハ禁錮ノ罰ヲ規定イタシテ居リマシタ、又ハ罰金ヲ規定イタシテ居リマシタ、本案ニ於テハ總テ百圓以下ノ罰金又ハ科料ト致シマシテ、其範圍ニ於テ裁判官ガ輕重ヲ裁量スルコトニナリマスル、意ハ即チ輕ク致ス精神ニ出デ、居リマス、之ニ反シマシテ例ヘバ行政處分トシテ將ニ紙面ノ差押ヲナサムト致シマスルコトニ、惡意ニ依ッテ此紙面ヲ隱匿スルガ如キ行爲ニ對シマスル罰ガ、從來缺ケテ居リマス、是等ニハ相當ノ罰が必要デアルト云フ意見カラ禁錮竝ニ罰金ノ規定ヲ設ケマシタル如ク、或ハ又發賣頒布ヲ禁止セラレマシタル後ニ、其情ヲ知リナガラ禁止サレタ所ノ新聞紙ヲ、尙ホ發賣頒布スル者ニ對スル書林ノ如キ、取次所ノ如キモノガアリマシタトキニ、之ニ對スル罰ガ缺ケテ居リマスルニ依ッテ、新タニ之ヲ補ウタルガ如キ、或ハ發行人編輯人ノ資格ガ法律ニ定メテアリナガラ、其資格ヲ僞シテ發行人トナリ、編輯人トナル者ニ對スル罰ガ缺ケテ居リマスル、依ッテ第二十八條ヲ設ケマシタル如ク、或ハ又發行ヲ裁判所ニ依ッテ禁止セラレマシタル場合ニ、其禁止ノ裁判ニ違反シテ發行スル行爲ニ對シテハ、罰則ガ現行法ニ缺ケテ居リマスルカラ、新ニ設ケマシタル如ク、其他凡ツ唯今申連ネマシタ如キ類ヲ、現行法ニ對シマシテ整理ヲ致シマシタノデ、現行法ノ不備ナルモノニ比較イタシマスレバ、稍々全キニ近ヅイタモノト考ヘテ居リマス

ウ既ニ發送シテ仕舞ツタ、發行シテ仕舞ツタト云フモノデアリマスレバ、是ハドウモ差止メノ方ガ後ニナリマスカラ、之ニ向ッテ法律ニ規定シタ制裁ヲ科スルコト云フコトハ是レハ到底出來ナイコトデアラウト思フ、併シ是等ノ事柄ハ實際ノ檢事ノ手ニ依リマシテ、不都合ノ生ジナイヤウニスルコトハ努メナケレバナラヌ事柄デアラウト思ヒマス、被告事件ガ起リマスレバ、直チニ搜查ニ著手イタスノデアリマスカラ、檢事ノ命令ヲ發シマスルノハ此事件ニ付イテ新聞ニ搜查ノ事項ヲ掲載サレテハ困ルト云フ場合デアリマスレバ、直グニ其命令ハ下シマスルノデアリマス、唯今仰セニナリマシタヤウナ不都合ノ起リマセヌヤウナ檢事ノ取扱ニ依リマシテ十分ナル途ハアラウト考ヘマス

○江木千之君 尙ホ私ハチヨット伺ッテ置キタイト思ヒマスルガ、此十九條デスガ、是ハ餘ホド此今日ノニ較ベルト、新聞社ノ方デハ餘ホド便宜ニナッタラウト思ハレヤウデスガ、此差止メタル搜查ト、又ハ豫審ノ被告事件ニ關スル事項ヲ掲載スルコトヲ得ズト云フノデアリマスルガ、此分界ハドシナコトニナルノデスカ、此法文デハ議論ガ生ズルヤウニナリハシマイカト、チヨット思ハレバ、檢事ガ差止メタルコト云フノミ例ヘバ夜ニ入ッデ夜中ニ此事件ハ掲載シテハイカヌト云フ命令ヲシタト云フコトニ、モウ明日ノ明日配付スル新聞ハ刷ッテ仕舞ツテ、スツカリ準備ガ出來テ居ルト云フモノハ翌日ノ之ヲ配達シテモ問ハヌト云フノデアリマスガ、サウスルト先刻園田君ノ言ハレヤウニ取締上緩漫ニナルト云フヤウナ憂モアル、併ナガラ又一方カラ考ヘルト夜中ニ命令ヲ發シテ既ニ其配達ノ手順ガスツカリ附ケテ居ツタ、ソコニ命令ガ來タカラト云ッテ或ハソレヲ皆ソレカラ抹殺シテ仕舞フト云フヤウナコトニナルト翌日ノ新聞ノ配達ハ非常ニ後レテ仕舞フ、併シ取締ノ目的ハ達シ得ラレヤウカト思フ、或ハ又中ニハモウ命令ガ達シタトキハボツ／＼配達ハ出掛ケルノモ、出タノモアルト云フヤウナ場合ニナルト、到底其新聞ハ命令ニ依テ差止メタルト云フヤウナ譯ニハイカヌト云フヤウナコトモ起ッテ來ララウト思ハレマスガ、其所等三付イテハ何かハツキリシタ分界ノ付ケヤウガアルデアリマセウカ、ドウ云フヤウナ取扱ニナリマセウカ

○男爵菊池大麓君 此節大分豫審事件ガ喧マシイデスガ、現行ノ取扱ハドウ云フ風デスカ、モウ少シ委シク御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(平沼騏一郎君) 現行法ニ於キマシテハ極メテ廣ク規定シテ居リマシテ、豫審ニ關スル事項ヲ公判ニ付スル前ニ於テ掲載スルコトヲ得ナイ、斯ウ云フ意味ノ明文ニナッテ居リマスノデ、此豫審ニ關スル事項ト相成リマスルコト、餘ホド廣イ意味ニ相成リマス、豫審ノ取調ニ關係ノアリマスル事柄ハ總テ書カレナイト云フ解釋ニナラウト思ヒマス、ソレデゴザイマスカラシテ、檢事ガ止メタル止メタル拘ラズ苟モ其事柄ニ關係ノアリマスル事柄ヲ掲載イタシマスレバ罰セラレマスル結果ニナリマス、此法案ヲ提出ニナリマシタ理由ノ一ツハ、ソレハ餘リ廣過ギルト云フヤウニアッタト思フデス、ソレデ今同ハ此豫審ノ内容、即チ豫審ニ於テ取調ヲ致シマシタ事柄ハ、是ハ在來ノ通り總テ掲載ハナラヌ爲ニ其以外ノ事柄デアリマスレバ特ニ檢事ノ方カラ指定イタシマシテ、其事件ノミニ付キマシテ掲載ヲ禁ズルト、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマシテ、現行法ニ比シマスレバ其範圍ハ餘ホド狹クナリマシタデアリマス

○男爵菊池大麓君 サウスルト今マデハ豫審ニ關スルコトハ總テ掲載スルコトハナラヌカッタデアルガ、實際ハ、ヤッテモ告發シナカッタト云フノデアリマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 御承知ノ通り現今ノ檢事ノ取扱ニ於キマシテハ、法律ニ觸レマシタ場合デアリマシテモ、是ハ格別ノ害ガナイト認メマスルモノハ警察官モ告發モ致シマセヌシ、又檢事ノ方デモ起訴ハ致シテ居リマセヌ、特ニ此事柄ニ付キマシテハ處罰必要ヲ認メタルト云フ場合ニ處分ヲ致スコトニナッテ居リマス、是マデ豫審ニ關シマスル事項モ隨分、新聞ニ澤山掲載サレテ居リマス、特ニ害モ認メマセヌモノニ付イテハ起訴ヲ致シテ居リマセヌ

○江木千之君 本員ハモウ別ニ質問ハアリマセヌ、今日柄大分マダ他ノ委員會ニ出席シナケレバナリマセヌヤウナコトニナッテ居リマスルデ、相成ルベクハ是ハ速ニ決定セラレムコトヲ希望イタシマス、本員ハモウ此案ニ全ク賛成デアリマス

○千頭清臣君 私モ原案ニ異論ハアリマセヌ、贊成イタシマス

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハモウ御質問ハアリマセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 其分界ニ至リマスレバ唯今仰セノ通りニ色々困難ナ事ガ起ラウト考ヘマスルガ、併ナガラ掲載ヲ禁ズルト云フコトニナルノデアリマスカラ、既ニ檢事ノ命令ヲ發シマシタ以上デアリマスレバ、其時既ニ印刷ニハ著手シテ居ルト云フ場合デアリマシテモ、是ハドウモ新聞紙ニ掲載イタスト云フコトハ出來マイト思フ、併ナガラモ

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ皆サン原案ニ御異議ハアリマセヌカ

貴族院新聞紙法案特別委員會會議事速記第一號

(別ニ異議ハゴザイマセヌト呼フ者アリ)

明治四十二年三月二十二日

三

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ原案ニ可決シマス

午後三時十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵波多野敬直君

委員

男爵園田 安賢君

男爵菊池 大麓君

男爵關 義臣君

江木 千之君

男爵小早川四郎君

千頭 清臣君

絲原武太郎君

政府委員

內務省警保局長 有松 英義君

司法省民刑局長 平沼騏一郎君

司法省參事官 豐島 直通君